



仮想化 Linux 環境 Docker について

前田 俊行

千葉工業大学 人工知能・ソフトウェア技術研究センター

Docker ってなに？

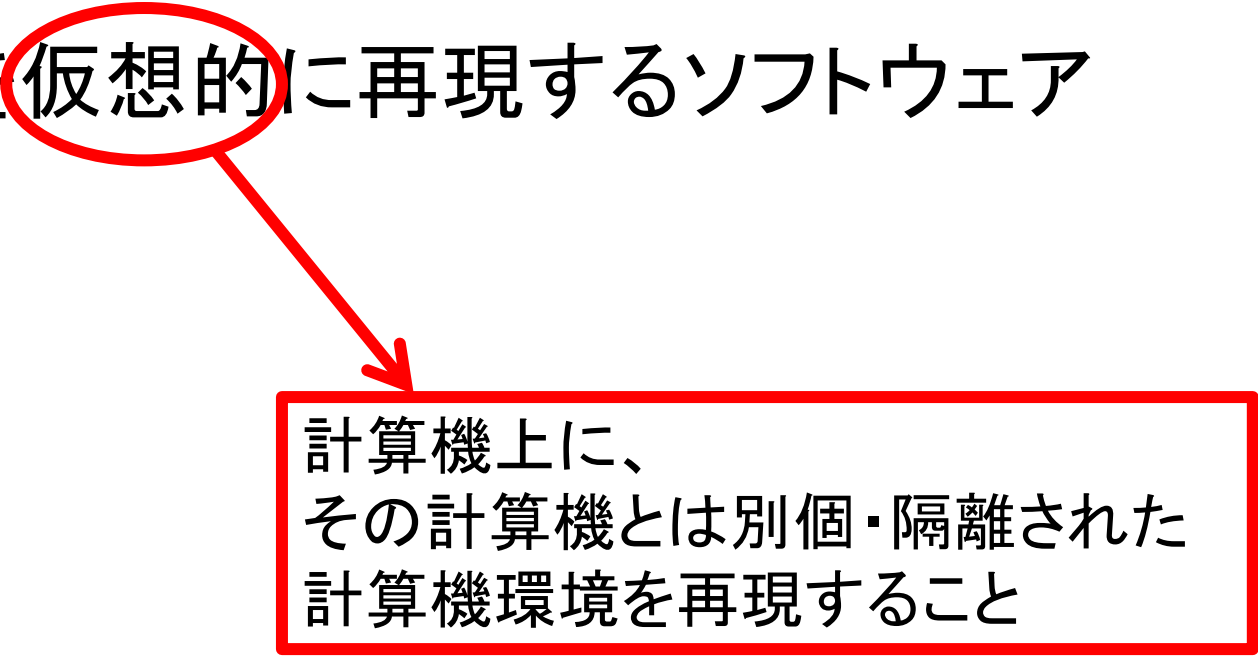
- Linux 環境を仮想的に再現するソフトウェア

Docker ってなに？

- Linux 環境を**仮想的**に再現するソフトウェア

Docker ってなに？

- Linux 環境を**仮想的**に再現するソフトウェア



計算機上に、
その計算機とは別個・隔離された
計算機環境を再現すること

仮想環境? 他にもいっぱいあるじゃん?

- KVM: <https://www.linux-kvm.org/>
- VMware: <http://www.vmware.com/>
- QEMU: <http://www.qemu-project.org/>
- VirtualBox: <https://www.virtualbox.org/>
- Hyper-V: <http://www.microsoft.com/hyper-v>
- LXC: <https://linuxcontainers.org/>
- Xen: <https://www.xenproject.org/>

...

Docker の特徴

- とっても簡単
- とっても軽い

Docker の特徴

- とても簡単

- とても軽い

Docker を使ってみよう

Docker をインストールしよう

[https://store.docker.com/search?
type=edition&offering=community](https://store.docker.com/search?type=edition&offering=community)

- 上記ページからダウンロード、
もしくはインストール手順が確認できます
 - Linux (Ubuntu, Debian, Fedora, CentOS, etc.) 版も
macOS 版も
Windows 版もあります

Docker コンテナを実行してみよう

```
% docker run ubuntu cat /etc/lsb-release
```

Docker コンテナを実行してみよう

```
% docker run ubuntu cat /etc/lsb-release
```

```
...  
DISTRIB_ID=Ubuntu  
DISTRIB_RELEASE=16.04  
DISTRIB_CODENAME=xenial  
DISTRIB_DESCRIPTION="Ubuntu 16.04.2 LTS"
```

Docker コンテナを実行してみよう

```
% docker run ubuntu cat /etc/lsb-release
```

Docker コンテナを実行してみよう

```
% docker run ubuntu cat /etc/lsb-release
```



Docker ランタイム

Docker コンテナを実行してみよう

```
% docker run ubuntu cat /etc/lsb-release
```

Docker ランタイム

Docker コマンド

Docker コンテナを実行してみよう

コンテナを
起動せよ!

※ コンテナ = 仮想環境

```
% docker run ubuntu cat /etc/lsb-release
```

Docker ランタイム

Docker コマンド

Docker コンテナを実行してみよう

```
% docker run ubuntu cat /etc/lsb-release
```

Docker ランタイム

Docker コマンド

イメージ名

Docker コンテナを実行してみよう

このイメージを元に
起動せよ!

```
% docker run ubuntu cat /etc/lsb-release
```

Docker ランタイム

Docker コマンド

イメージ名

Docker コンテナを実行してみよう

```
% docker run ubuntu cat /etc/lsb-release
```

Docker ランタイム

Docker コマンド

イメージ名

実行コマンド

Docker コンテナを実行してみよう

起動したコンテナ内で
このコマンドを実行せよ!

```
% docker run ubuntu cat /etc/lsb-release
```

Docker ランタイム

Docker コマンド

イメージ名

実行コマンド

Docker コンテナを実行してみよう

```
% docker run ubuntu cat /etc/lsb-release
```

Docker コンテナを実行してみよう

```
% docker run ubuntu cat /etc/lsb-release
```

```
...  
DISTRIB_ID=Ubuntu  
DISTRIB_RELEASE=16.04  
DISTRIB_CODENAME=xenial  
DISTRIB_DESCRIPTION="Ubuntu 16.04.2 LTS"
```

イメージを探してみよう

```
% docker search centos
```

イメージを探してみよう

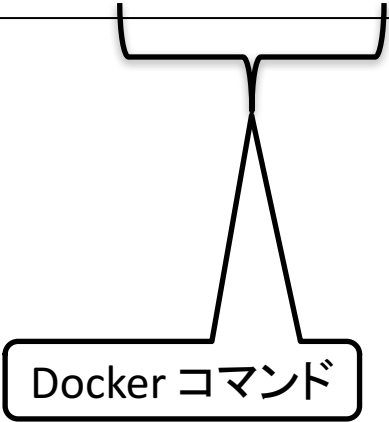
```
% docker search centos
```

DNAME	DESCRIPTION
centos	The official b
jdeathe/centos-ssh	CentOS-6 6.8 x
jdeathe/centos-ssh-apache-php	CentOS-6 6.8 x
consol/centos-xfce-vnc	Centos contain
nimmis/java-centos	This is docker

```
...
```

イメージを探してみよう

```
% docker search centos
```



Docker コマンド

イメージを探してみよう

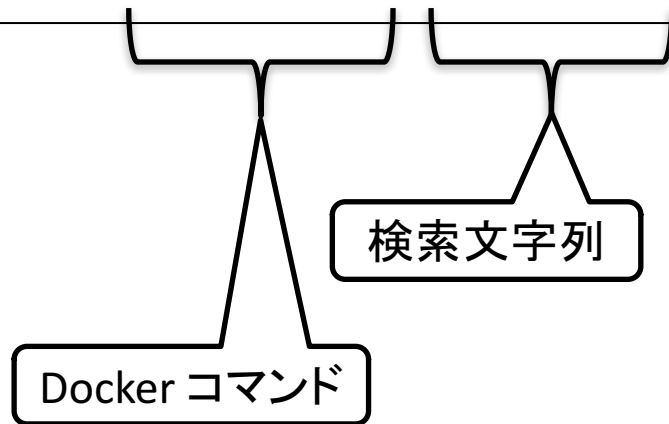
イメージを
検索せよ!

```
% docker search centos
```

Docker コマンド

イメージを探してみよう

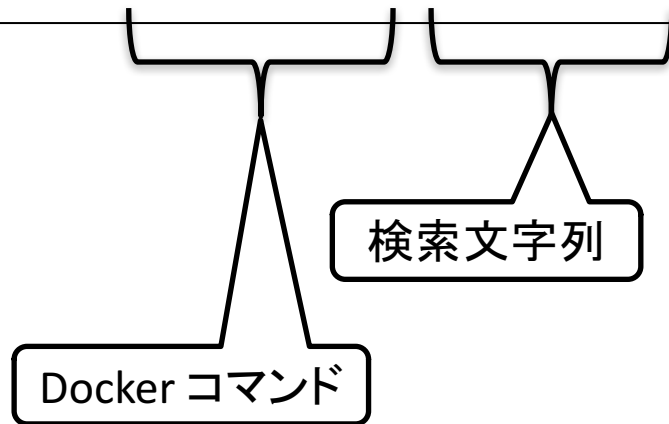
```
% docker search centos
```



イメージを探してみよう

この文字列
で検索せよ!

```
% docker search centos
```



イメージを探してみよう

```
% docker search centos
```

イメージを探してみよう

```
% docker search centos
```

DNAME	DESCRIPTION
centos	The official b
jdeathe/centos-ssh	CentOS-6 6.8 x
jdeathe/centos-ssh-apache-php	CentOS-6 6.8 x
consol/centos-xfce-vnc	Centos contain
nimmis/java-centos	This is docker

```
...
```

見つかったイメージを実行してみよう

```
% docker run centos cat /etc/redhat-release
```

見つかったイメージを実行してみよう

```
% docker run centos cat /etc/redhat-release
```

```
...
```

```
CentOS Linux release 7.3.1611 (Core)
```

裏で何が起きているのか？

<https://hub.docker.com>

検索

ネットワーク

結果

% docker search centos ...



裏で何が起きているのか？

<https://hub.docker.com>

イメージ
リクエスト
(pull)

ネットワーク

ダウンロード

```
% docker run centos ...
```



Docker Hub: <https://hub.docker.com>

- 様々な Docker イメージが登録されているレジストリ
- 欲しいイメージは大抵すでに存在している
 - ただし「誰でも登録できる」レジストリのため、オフィシャルイメージや信頼できるイメージ以外は実行しない方がよい

コンテナを実行してみよう (その2)

イメージをダウンロードする

```
% docker pull nginx
```

コンテナを実行してみよう (その2)

イメージをダウンロードする

```
% docker pull nginx
```

```
Using default tag: latest
```

```
latest: Pulling from library/nginx
```

```
693502eb7dfb: Downloading [====> ] 50.86 MB/
```

```
6decb850d2bc: Download complete
```

```
c3e19f087ed6: Download complete
```

コンテナを実行してみよう (その2)

イメージをダウンロードする

```
% docker pull nginx
```

```
Using default tag: latest
```

```
latest: Pulling from library/nginx
```

```
693502eb7dfb: Pull complete
```

```
6decb850d2bc: Pull complete
```

```
c3e19f087ed6: Pull complete
```

```
Digest: sha256:52a189e49c0c797cfc5cbfe578c68
```

```
Status: Downloaded newer image for nginx:lat
```

コンテナを実行してみよう (その2)

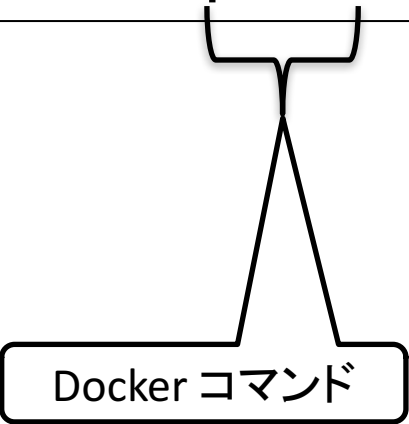
イメージをダウンロードする

```
% docker pull nginx
```

コンテナを実行してみよう (その2)

イメージをダウンロードする

```
% docker pull nginx
```



Docker コマンド

コンテナを実行してみよう (その2)

イメージをダウンロードする

イメージを
ダウンロードせよ!

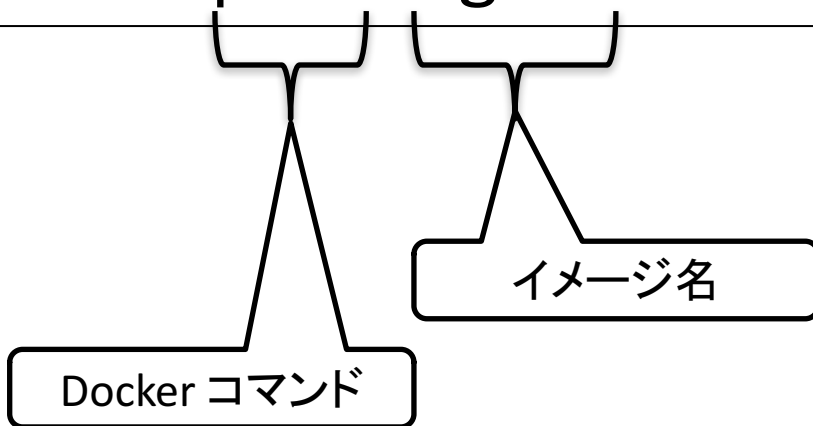
```
% docker pull nginx
```

Docker コマンド

コンテナを実行してみよう (その2)

イメージをダウンロードする

```
% docker pull nginx
```



コンテナを実行してみよう (その2)

イメージをダウンロードする

この名前のイメージを
ダウンロードせよ!

```
% docker pull nginx
```

Docker コマンド

イメージ名

コンテナを実行してみよう (その2)

イメージを確認する

```
% docker images
```

コンテナを実行してみよう (その2)

イメージを確認する

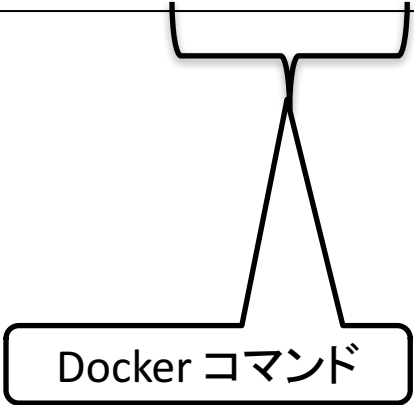
```
% docker images
```

REPOSITORY	TAG	IMAGE ID	CREATED
centos	latest	98d35105a391	4 days ago
nginx	latest	6b914bbcb89e	2 weeks ago
ubuntu	latest	0ef2e08ed3fa	2 weeks ago

コンテナを実行してみよう(その2)

イメージを確認する

```
% docker images
```



Docker コマンド

コンテナを実行してみよう (その2)

イメージを確認する

ローカルに存在する
イメージを列挙せよ!

```
% docker images
```

Docker コマンド

コンテナを実行してみよう (その2)

イメージを確認する

```
% docker images
```

REPOSITORY	TAG	IMAGE ID	CREATED
centos	latest	98d35105a391	4 days ago
nginx	latest	6b914bbcb89e	2 weeks ago
ubuntu	latest	0ef2e08ed3fa	2 weeks ago

コンテナを実行してみよう (その2)

イメージを確認する

イメージには
「バージョン」がある

```
% docker images
```

REPOSITORY	TAG	IMAGE ID	CREATED
centos	latest	98d35105a391	4 days ago
nginx	latest	6b914bbcb89e	2 weeks ago
ubuntu	latest	0ef2e08ed3fa	2 weeks ago

コンテナを実行してみよう (その2)

【ちょっと脱線】

バージョンを指定してみよう

```
% docker run ubuntu:17.04 cat /etc/lsb-release
```

コンテナを実行してみよう (その2)

【ちょっと脱線】

バージョンを指定してみよう

```
% docker run ubuntu:17.04 cat /etc/lsb-release
```



バージョン (tag)
を指定している

コンテナを実行してみよう (その2)

【ちょっと脱線】

バージョンを指定してみよう

```
% docker run ubuntu:17.04 cat /etc/lsb-release
```

コンテナを実行してみよう (その2)

【ちょっと脱線】

バージョンを指定してみよう

```
% docker run ubuntu:17.04 cat /etc/lsb-release
```

```
...
```

```
DISTRIB_ID=Ubuntu
```

```
DISTRIB_RELEASE=17.04
```

```
DISTRIB_CODENAME=zesty
```

```
DISTRIB_DESCRIPTION="Ubuntu Zesty Zapus (develo
```

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバを起動してみる

```
% docker run -d -p (好きな番号):80 nginx
```

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバを起動してみる

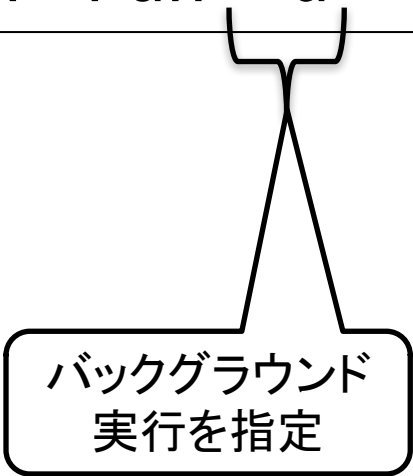
```
% docker run -d -p (好きな番号):80 nginx
```

```
ddc41a326fc28951546e3959d7dd552e03be8e82e1a9
```

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバを起動してみる

```
% docker run -d -p (好きな番号):80 nginx
```



バックグラウンド
実行を指定

コンテナを実行してみよう(その2)

サーバを起動してみる

```
% docker run -d -p (好きな番号):80 nginx
```

バックグラウンド
実行を指定

TCPのポート番号
を指定

コンテナを実行してみよう(その2)

ホスト側の(好きな番号)番ポートを
コンテナの80番ポートに接続する

```
% docker run -d -p (好きな番号):80 nginx
```

バックグラウンド
実行を指定

TCPのポート番号
を指定

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバを起動してみる

```
% docker run -d -p (好きな番号):80 nginx
```

```
19ecb956ab5d1e5362fe57701ec3a7667cdf1a9e9ba2
```



実行されたコンテナの ID

コンテナを実行してみよう (その2)
サーバが起動しているか確認する

```
% docker ps
```

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバが起動しているか確認する

```
% docker ps
```

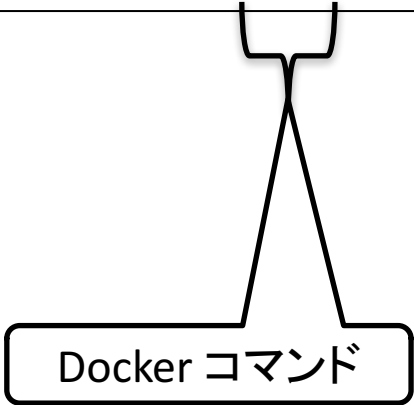
CONTAINER ID	IMAGE	COMMAND
19ecb956ab5d	nginx	“nginx -g ‘daemon ...’

コンテナを実行してみよう (その2)
サーバが起動しているか確認する

```
% docker ps
```

コンテナを実行してみよう (その2) サーバが起動しているか確認する

```
% docker ps
```



コンテナを実行してみよう(その2)
サーバが起動しているか確認する

実行中のコンテナを
列挙せよ!

```
% docker ps
```

Docker コマンド

コンテナを実行してみよう (その2)
サーバが起動しているか確認する

```
% docker ps
```

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバが起動しているか確認する

```
% docker ps
```

CONTAINER ID	IMAGE	COMMAND
19ecb956ab5d	nginx	“nginx -g ‘daemon ...’

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバを停止してみる

```
% docker stop 19ecb
```

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバを停止してみる

```
% docker stop 19ecb
```

```
19ecb
```

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバを停止してみる

```
% docker stop 19ecb
```

コンテナを実行してみよう(その2) サーバを停止してみる

コンテナを停止せよ!

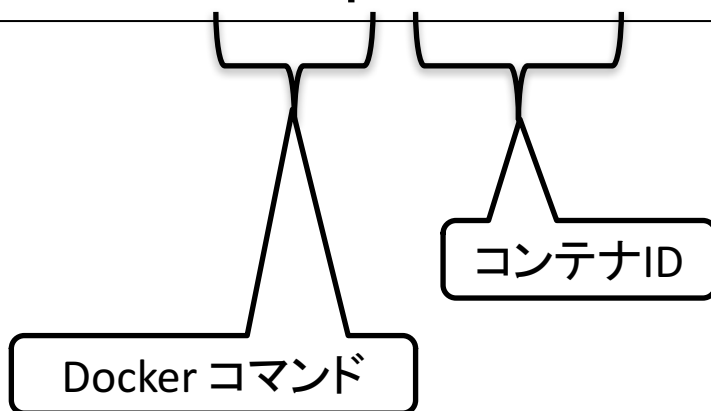
```
% docker stop 19ecb
```

Docker コマンド

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバを停止してみる

```
% docker stop 19ecb
```



コンテナを実行してみよう(その2) サーバを停止してみる

このコンテナを停止せよ!

```
% docker stop 19ecb
```

Docker コマンド

コンテナID

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバを停止してみる

このコンテナを停止せよ!

```
% docker stop 19ecb
```

Docker コマンド

コンテナID

※コンテナ ID は
全部入力する必要はない

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバを停止してみる

```
% docker stop 19ecb
```

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバを停止してみる

```
% docker stop 19ecb
```

```
19ecb
```

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバが停止したか確認する

```
% docker ps
```

コンテナを実行してみよう (その2)

サーバが停止したか確認する

```
% docker ps
```

CONTAINER ID	IMAGE	COMMAND
--------------	-------	---------

コンテナを実行してみよう (その2)

停止したコンテナを確認する

```
% docker ps -a
```

コンテナを実行してみよう (その2)

停止したコンテナを確認する

```
% docker ps -a
```

CONTAINER ID	IMAGE	COMMAND
19ecb956ab5d	nginx	"nginx -g 'daemo
a844e44f4790	ubuntu:17.04	"cat /etc/lsb-re
533c0f506a00	centos	"cat /etc/redhat
6b73015537c0	ubuntu	"cat /etc/lsb-re

コンテナを実行してみよう (その2)

停止したコンテナを確認する

```
% docker ps -a
```

コンテナを実行してみよう (その2) 停止したコンテナを確認する

```
% docker ps -a
```

停止しているものも含めて
全てのコンテナを表示せよ!

コンテナを実行してみよう (その2)

停止したコンテナを確認する

```
% docker ps -a
```

コンテナを実行してみよう (その2)

停止したコンテナを確認する

```
% docker ps -a
```

CONTAINER ID	IMAGE	COMMAND
19ecb956ab5d	nginx	"nginx -g 'daemo
a844e44f4790	ubuntu:17.04	"cat /etc/lsb-re
533c0f506a00	centos	"cat /etc/redhat
6b73015537c0	ubuntu	"cat /etc/lsb-re

コンテナを実行してみよう (その2)

不要なコンテナを削除しよう

```
% docker rm 19ec a844 533c 6b73
```

コンテナを実行してみよう (その2)

不要なコンテナを削除しよう

```
% docker rm 19ec a844 533c 6b73
```

19ec

a844

533c

6b73

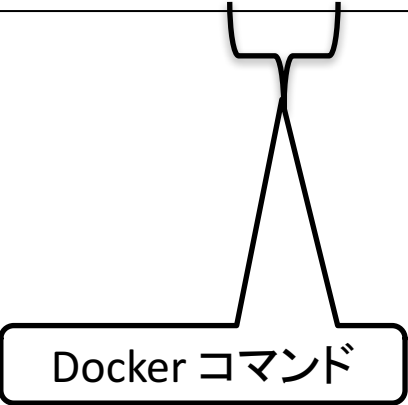
コンテナを実行してみよう (その2)

不要なコンテナを削除しよう

```
% docker rm 19ec a844 533c 6b73
```

コンテナを実行してみよう (その2) 不要なコンテナを削除しよう

```
% docker rm 19ec a844 533c 6b73
```



Docker コマンド

コンテナを実行してみよう (その2) 不要なコンテナを削除しよう

コンテナを削除せよ!

```
% docker rm 19ec a844 533c 6b73
```

Docker コマンド

コンテナを実行してみよう (その2) 不要なコンテナを削除しよう

```
% docker rm 19ec a844 533c 6b73
```

Docker コマンド

削除するコンテナのID

コンテナを実行してみよう (その2)

不要なコンテナを削除しよう

これらのコンテナを
削除せよ!

```
% docker rm 19ec a844 533c 6b73
```

Docker コマンド

削除するコンテナのID

コンテナを実行してみよう (その2)

不要なコンテナを削除しよう

```
% docker rm 19ec a844 533c 6b73
```

コンテナを実行してみよう (その2)

不要なコンテナを削除しよう

```
% docker rm 19ec a844 533c 6b73
```

19ec

a844

533c

6b73

コンテナを実行してみよう (その2)
コンテナを削除できたか確認する

```
% docker ps -a
```

コンテナを実行してみよう (その2)

コンテナを削除できたか確認する

```
% docker ps -a
```

CONTAINER ID	IMAGE	COMMAND
--------------	-------	---------

コンテナ内でシェルを起動してみる

```
% docker run -i -t ubuntu /bin/bash
```

コンテナ内でシェルを起動してみる

```
% docker run -i -t ubuntu /bin/bash
```

```
root@d2db426e0aa9:/#
```

コンテナ内でシェルを起動してみる

```
% docker run -i -t ubuntu /bin/bash
```

コンテナ内でシェルを起動してみる

```
% docker run -i -t ubuntu /bin/bash
```

インタラクティブ:
標準入力を閉じない

TTY を割り当てる

コンテナ内でシェルを起動してみる

シェルが入力を
受けられるようにする

```
% docker run -i -t ubuntu /bin/bash
```

インタラクティブ:
標準入力を閉じない

TTY を割り当てる

コンテナ内でシェルを起動してみる

```
% docker run -i -t ubuntu /bin/bash
```

コンテナ内でシェルを起動してみる

```
% docker run -i -t ubuntu /bin/bash
```

```
root@d2db426e0aa9:/#
```

コンテナ内でシェルを終了する

```
% docker run -i -t ubuntu /bin/bash
```

```
root@d2db426e0aa9:/# exit
```

停止したコンテナを再起動する

```
% docker restart d2db4
```

停止したコンテナを再起動する

```
% docker restart d2db4
```

```
d2db4
```

停止したコンテナを再起動する

```
% docker restart d2db4
```

停止したコンテナを再起動する

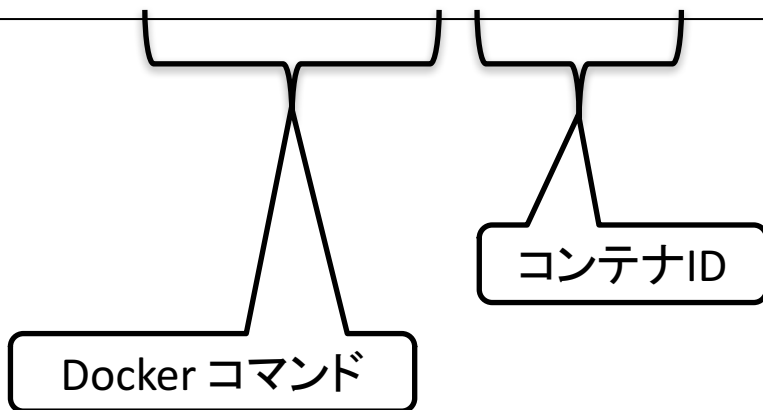
コンテナを
再起動せよ!

```
% docker restart d2db4
```

Docker コマンド

停止したコンテナを再起動する

```
% docker restart d2db4
```



停止したコンテナを再起動する

このコンテナを
再起動せよ!

```
% docker restart d2db4
```

Docker コマンド

コンテナID

停止したコンテナを再起動する

```
% docker restart d2db4
```

停止したコンテナを再起動する

```
% docker restart d2db4
```

```
d2db4
```

再起動したコンテナに接続する

```
% docker attach d2db4
```

再起動したコンテナに接続する

```
% docker attach d2db4
```

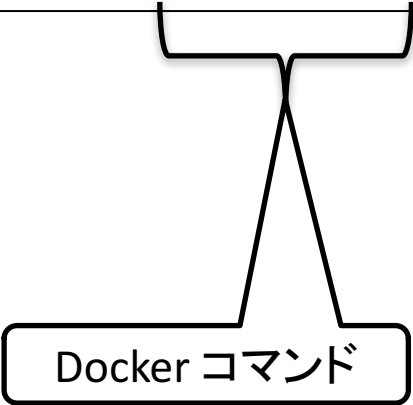
```
root@d2db426e0aa9: /#
```

再起動したコンテナに接続する

```
% docker attach d2db4
```

再起動したコンテナに接続する

```
% docker attach d2db4
```



Docker コマンド

再起動したコンテナに接続する

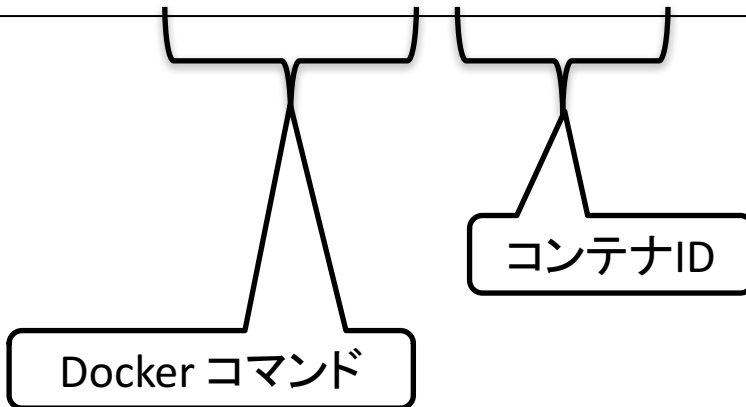
コンテナに
接続せよ!

```
% docker attach d2db4
```

Docker コマンド

再起動したコンテナに接続する

```
% docker attach d2db4
```



再起動したコンテナに接続する

このコンテナに
接続せよ!

```
% docker attach d2db4
```

Docker コマンド

コンテナID

再起動したコンテナに接続する

```
% docker attach d2db4
```

再起動したコンテナに接続する

```
% docker attach d2db4
```

```
root@d2db426e0aa9: /#
```

実行中のテナ内でシェルを起動する

```
% docker run -d -p (好きな番号):80 nginx
```

実行中のテナ内でシェルを起動する

```
% docker run -d -p (好きな番号):80 nginx
```

```
30d198bf0ad3c03535f2d292153a9f7ae003b71ca0ec
```

実行中のテナ内でシェルを起動する

```
% docker exec -i -t 30d19 /bin/bash
```

実行中のテナ内でシェルを起動する

```
% docker exec -i -t 30d19 /bin/bash
```

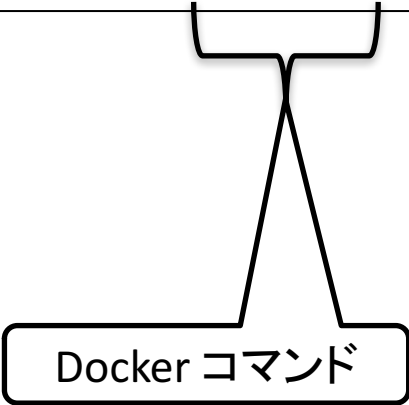
```
root@30d198bf0ad3:/#
```

実行中のテナ内でシェルを起動する

```
% docker exec -i -t 30d19 /bin/bash
```

実行中のテナ内でシェルを起動する

```
% docker exec -i -t 30d19 /bin/bash
```



Docker コマンド

実行中のテナ内でシェルを起動する

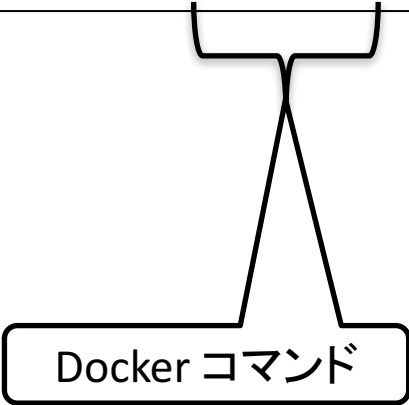
テナ内で
コマンドを実行せよ!

```
% docker exec -i -t 30d19 /bin/bash
```

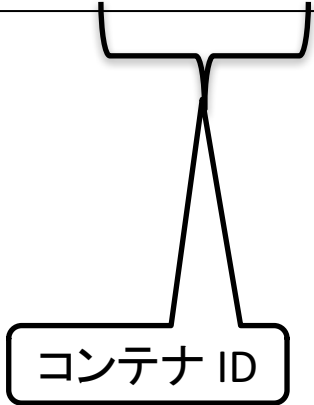
Docker コマンド

実行中のテナ内でシェルを起動する

```
% docker exec -i -t 30d19 /bin/bash
```



Docker コマンド



テナ ID

実行中のテナ内でシェルを起動する

このテナ内で
コマンドを実行せよ!

```
% docker exec -i -t 30d19 /bin/bash
```

Docker コマンド

テナ ID

実行中のテナ内でシェルを起動する

```
% docker exec -i -t 30d19 /bin/bash
```

Docker コマンド

テナ ID

コマンド

実行中のテナ内でシェルを起動する

このコマンドを
実行せよ!

```
% docker exec -i -t 30d19 /bin/bash
```

Docker コマンド

テナ ID

コマンド

実行中のテナ内でシェルを起動する

```
% docker exec -i -t 30d19 /bin/bash
```

実行中のテナ内でシェルを起動する

```
% docker exec -i -t 30d19 /bin/bash
```

```
root@30d198bf0ad3:/#
```

コンテナからイメージを作成する

```
% docker stop 30d19
```

コンテナからイメージを作成する

```
% docker stop 30d19
```

```
30d19
```

コンテナからイメージを作成する

```
% docker commit 30d19 (好きな名前)
```

コンテナからイメージを作成する

```
% docker commit 30d19 (好きな名前)
```

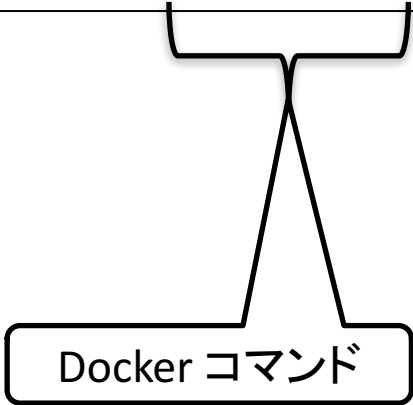
```
sha256:96475fbbe6901fcf946502eebb317869d791a
```

コンテナからイメージを作成する

```
% docker commit 30d19 (好きな名前)
```

コンテナからイメージを作成する

```
% docker commit 30d19 (好きな名前)
```



Docker コマンド

コンテナからイメージを作成する

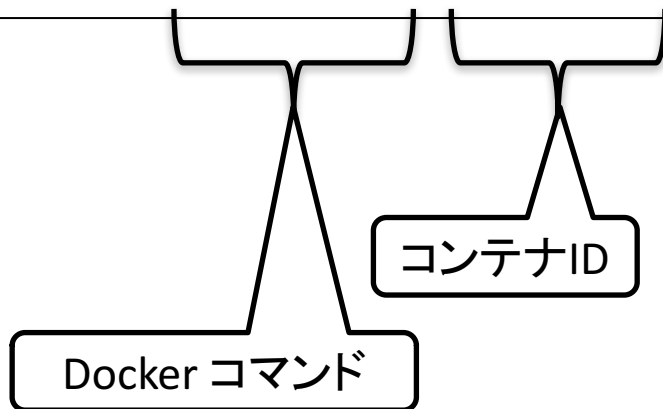
コンテナから
イメージを作成せよ!

```
% docker commit 30d19 (好きな名前)
```

Docker コマンド

コンテナからイメージを作成する

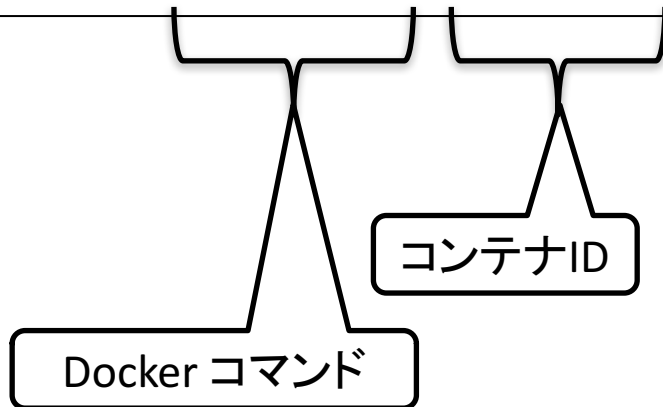
```
% docker commit 30d19 (好きな名前)
```



コンテナからイメージを作成する

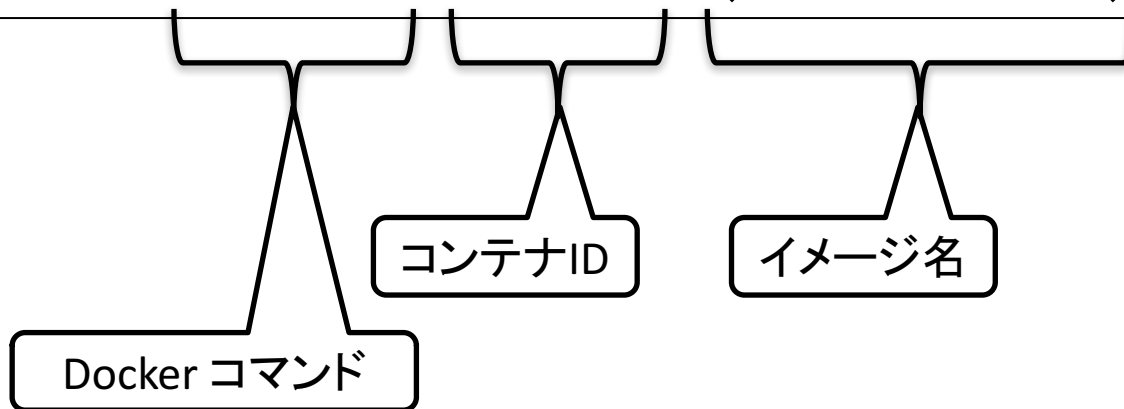
このコンテナから
イメージを作成せよ!

```
% docker commit 30d19 (好きな名前)
```



コンテナからイメージを作成する

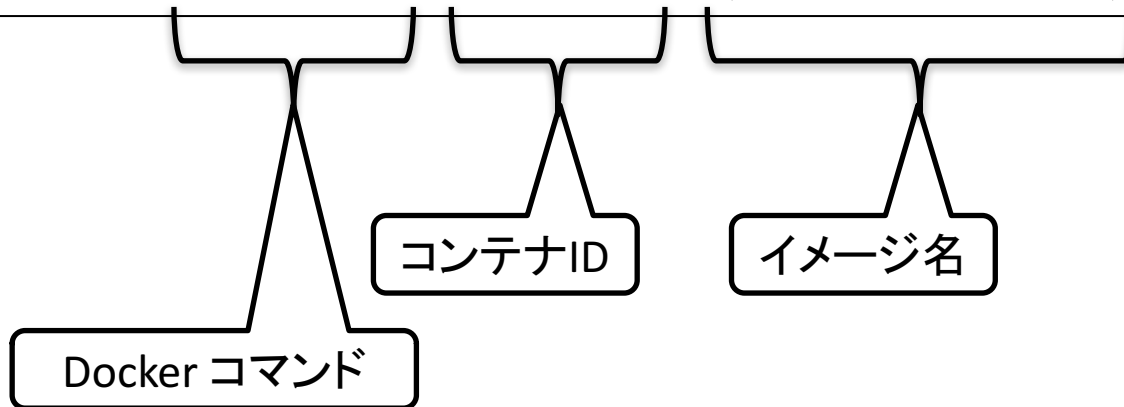
```
% docker commit 30d19 (好きな名前)
```



コンテナからイメージを作成する

このイメージ名で
イメージを作成せよ!

```
% docker commit 30d19 (好きな名前)
```



コンテナからイメージを作成する

```
% docker commit 30d19 (好きな名前)
```

コンテナからイメージを作成する

```
% docker commit 30d19 (好きな名前)
```

```
sha256:96475fbbe6901fcf946502eebb317869d791a
```

作成したイメージを確認する

```
% docker images
```

作成したイメージを確認する

```
% docker images
```

REPOSITORY	TAG	IMAGE ID	CREATED
(好きな名前)	latest	96475fbbe690	32 seconds ago
centos	latest	98d35105a391	4 days ago
nginx	latest	6b914bbcb89e	2 weeks ago
ubuntu	latest	0ef2e08ed3fa	2 weeks ago

作成したイメージでコンテナを実行する

```
% docker run -d -p (好きな番号):80 (好きな名前)
```

作成したイメージでコンテナを実行する

```
% docker run -d -p (好きな番号):80 (好きな名前)
```

```
172e159d9e814d15a7c579a06eabfc050106811b6bfcad1
```

ホストとコンテナでファイルを共有する

```
% mkdir nginx-files  
% docker run -d -p (好きな番号):80 \  
  -v $PWD/nginx-files:/usr/share/nginx/html \  
  (好きな名前)
```

ホストとコンテナでファイルを共有する

```
% mkdir nginx-files  
% docker run -d -p (好きな番号):80 \  
  -v $PWD/nginx-files:/usr/share/nginx/html \  
  (好きな名前)
```

```
87ee8e79f2139f658cbdbdd77667b64b0b5d0dae2cft
```

ホストとコンテナでファイルを共有する

```
% mkdir nginx-files  
% docker run -d -p (好きな番号):80 \  
  -v $PWD/nginx-files:/usr/share/nginx/html \  
  (好きな名前)
```

ホストとコンテナでファイルを共有する

```
% mkdir nginx-files  
% docker run -d -p (好きな番号):80 \  
  -v $PWD/nginx-files:/usr/share/nginx/html \  
  (好きな名前)
```

ホスト上のディレクトリ

ホストとコンテナでファイルを共有する

```
% mkdir nginx-files  
% docker run -d -p (好きな番号):80 \  
-v $PWD/nginx-files:/usr/share/nginx/html \  
(好きな名前)
```

```
graph TD; A["$PWD/nginx-files  
(好きな名前)"] --- B["ホスト上のディレクトリ"]; C["/usr/share/nginx/html"] --- D["コンテナ内のディレクトリ"]
```

ホスト上のディレクトリ

コンテナ内のディレクトリ

ホストとコンテナでファイルを共有する

ホストのこの
ディレクトリを...

```
% mkdir nginx-files  
% docker run -d -p (好きな番号):80 \  
-v $PWD/nginx-files:/usr/share/nginx/html \  
(好きな名前)
```

ホスト上のディレクトリ

コンテナ内のディレクトリ

ホストとコンテナでファイル共有する

ホストのこの
ディレクトリを...

コンテナのこの
ディレクトリに
マウントする

```
% mkdir nginx-files  
% docker run -d -p (好きな番号):80 \  
-v $PWD/nginx-files:/usr/share/nginx/html \  
(好きな名前)
```

ホスト上のディレクトリ

コンテナ内のディレクトリ

ホストとコンテナでファイルを共有する

```
% mkdir nginx-files  
% docker run -d -p (好きな番号):80 \  
  -v $PWD/nginx-files:/usr/share/nginx/html \  
  (好きな名前)
```

このように共有されたディレクトリを
ボリュームと呼ぶ

ホストとコンテナでファイルを共有する

```
% mkdir nginx-files  
% docker run -d -p (好きな番号):80 \  
  -v $PWD/nginx-files:/usr/share/nginx/html \  
  (好きな名前)
```

ホストとコンテナでファイルを共有する

```
% mkdir nginx-files  
% docker run -d -p (好きな番号):80 \  
  -v $PWD/nginx-files:/usr/share/nginx/html \  
  (好きな名前)
```

```
87ee8e79f2139f658cbdbdd77667b64b0b5d0dae2cft
```

ホストとコンテナでファイルを共有する: ホストからファイルを編集する

```
% vi nginx-files/index.html
```

ホストとコンテナでファイルを共有する: コンテナからファイルを編集する

```
% docker exec -i -t 87ee8 /bin/bash
root@87ee8e79f213:/# vim.tiny \
    /usr/share/nginx/html/index.html
```

ホストとコンテナでファイルを共有する: コンテナからファイルを編集する

```
% docker exec -i  
root@87ee8e7
```

待った!

```
ml/index.html
```

コンテナからボリューム上のファイルを さわるときは注意が必要

```
root@87ee8e79f213:/# cd /usr/share/nginx/html
root@87ee8e79f213:/# touch index2.html
root@87ee8e79f213:/# exit
% ls -l nginx-files
```

コンテナからボリューム上のファイルを さわるときは注意が必要

```
root@87ee8e79f213:/# cd /usr/share/nginx/html
root@87ee8e79f213:/# touch index2.html
root@87ee8e79f213:/# exit
% ls -l nginx-files
```

```
total 0
```

```
-rw-r--r-- 1 ubuntu ubuntu 51 Mar 22 02:55 index.html
-rw-rw-r-- 1 root root 0 Mar 22 03:00 index2.htm
```

コンテナからボリ्यूーム上のファイルを さわるときは注意が必要

```
root@87ee8e79f213:/# cd /usr/share/nginx/html
root@87ee8e79f213:/# touch index2.html
root@87ee8e79f213:/# exit
% ls -l nginx-files
```

```
total 0
```

```
-rw-r--r-- 1 ubuntu ubuntu 51 Mar 22 02:55 index.html
-rw-rw-r-- 1 root root 0 Mar 22 03:00 index2.htm
```

コンテナ ボールを

root 権限で
ファイルが
作れてしまった!

```
root@
```

```
root@
```

```
root@
```

```
% ls -l ngi
```

```
total 0
```

```
-rw-r--r-- 1 ubuntu ubuntu 51 Mar 22 02:55 index.html  
-rw-rw-r-- 1 root root 0 Mar 22 03:00 index2.htm
```

コンテナからボリューム上のファイルを さわるときは注意が必要

```
root@680e0e43f517:/# cd /usr/share/nginx/html
root@680e0e43f517:/# touch index2.html
root@680e0e43f517:/# exit
% ls -l nginx-files
```

```
total 8
-rw-r--r-- 1 tosh  staff  51  3 22 14:30 index.html
-rw-rw-r-- 1 tosh  staff   0  3 22 14:35 index2.html
```

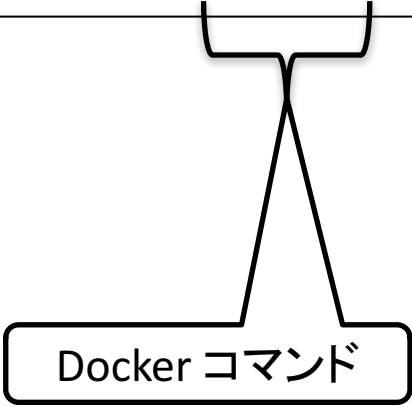
※ そうならない環境もあります (e.g., macOS)

イメージをファイルに保存する

```
% docker save (好きな名前) > (好きなファイル名).tar
```

イメージをファイルに保存する

```
% docker save (好きな名前) > (好きなファイル名).tar
```



Docker コマンド

イメージをファイルに保存する

イメージを
標準出力に書き出せ!

```
% docker save (好きな名前) > (好きなファイル名).tar
```

Docker コマンド

イメージをファイルに保存する

```
% docker save (好きな名前) > (好きなファイル名).tar
```

Docker コマンド

イメージ名

イメージをファイルに保存する

このイメージを
標準出力に書き出せ!

```
% docker save (好きな名前) > (好きなファイル名).tar
```

Docker コマンド

イメージ名

イメージをファイルに保存する

```
% docker save (好きな名前) > (好きなファイル名).tar
```

Docker コマンド

イメージ名

※ docker save の出力は基本的に tar アーカイブ

イメージをファイルに保存する

```
% docker save (好きな名前) > (好きなファイル名).tar
```

不要なイメージを削除する

```
% docker rmi (好きな名前)
```

不要なイメージを削除する

```
% docker rmi (好きな名前)
```

```
Deleted: sha256:96475fbbe6901fcf946502eebb31786
```

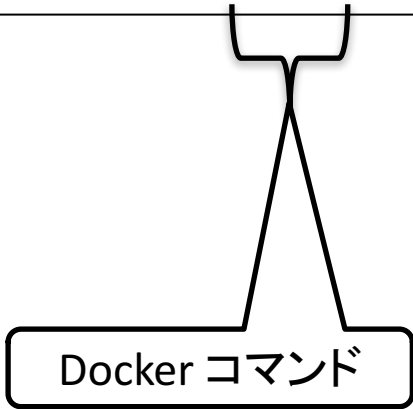
```
Deleted: sha256:be5c26bf4ce7314097263ed9f418939
```

不要なイメージを削除する

```
% docker rmi (好きな名前)
```

不要なイメージを削除する

```
% docker rmi (好きな名前)
```



Docker コマンド

不要なイメージを削除する

イメージを削除せよ!

```
% docker rmi (好きな名前)
```

Docker コマンド

不要なイメージを削除する

```
% docker rmi (好きな名前)
```

Docker コマンド

イメージ名

不要なイメージを削除する

このイメージ名の
イメージを削除せよ!

```
% docker rmi (好きな名前)
```

Docker コマンド

イメージ名

不要なイメージを削除する

```
% docker rmi (好きな名前)
```

不要なイメージを削除する

エラーが出ますか？

```
% docker rmi (好きな名前)
```

不要なイメージを削除する

エラーが出ますか？

```
% docker rmi (好きな名前)
```

そのイメージを使ったコンテナが存在していないか

```
docker ps -a
```

で確認して、

```
docker stop からの docker rm
```

で削除してください

不要なイメージを削除する

```
% docker rmi (好きな名前)
```

```
Deleted: sha256:96475fbbe6901fcf946502eebb31786
```

```
Deleted: sha256:be5c26bf4ce7314097263ed9f418939
```

ファイルからイメージをロードする

```
% docker load < (好きなファイル名).tar
```

ファイルからイメージをロードする

```
% docker load < (好きなファイル名).tar
```

```
d17d48b2382a: Loading layer [=====>] 128.
```

```
cf0d2468e726: Loading layer [=====>] 60.
```

```
e3a86ffb1c45: Loading layer [=====>] 3.58
```

```
...
```

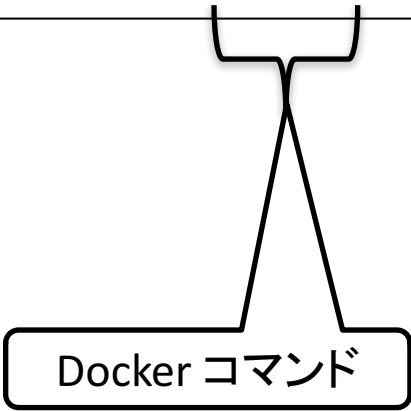
```
Loaded image (好きな名前):latest
```

ファイルからイメージをロードする

```
% docker load < (好きなファイル名).tar
```

ファイルからイメージをロードする

```
% docker load < (好きなファイル名).tar
```



Docker コマンド

ファイルからイメージをロードする

標準入力から
イメージを読み込め!

```
% docker load < (好きなファイル名).tar
```

Docker コマンド

ファイルからイメージをロードする

```
% docker load < (好きなファイル名).tar
```

ファイルからイメージをロードする

```
% docker load < (好きなファイル名).tar
```

```
d17d48b2382a: Loading layer [=====>] 128.
```

```
cf0d2468e726: Loading layer [=====>] 60.
```

```
e3a86ffb1c45: Loading layer [=====>] 3.58
```

```
...
```

```
Loaded image (好きな名前):latest
```

出てきたコマンドの一覧

- Docker run: コンテナを実行する
 - Docker run -i -t シェルが標準入力を取れるように実行する
 - Docker run -d バックグラウンドで実行する
 - Docker run -p ポート番号をマップする
 - Docker run -v ボリュームをマウントする
- Docker stop コンテナを停止する
- Docker restart コンテナを再起動する
- Docker search イメージを検索する
- Docker pull イメージをダウンロードする
- Docker images イメージの一覧を得る
- Docker ps 実行中のコンテナの一覧を得る
 - Docker ps -a (停止中のものも含め) 全てのコンテナの一覧を得る
- Docker rm コンテナを削除する
- Docker rmi イメージを削除する
- Docker attach 実行中のコンテナに接続する
- Docker exec 実行中のコンテナ内でコマンドを実行する
- Docker commit コンテナからイメージを作成する
- Docker save イメージを標準出力へ書き出す
- Docker load 標準入力からイメージをロードする

Docker の特徴

- とっても簡単
- とっても軽い

Docker の特徴

- とっても簡単
 - とっても軽い
-

Docker の性能は?

- Linux 版は何もしないで実行してもほとんどネイティブ実行と変わらないか、少し悪いくらい
 - CPU: ほとんど変わらない
 - ファイル I/O: ほとんど変わらないか若干悪化
 - ネットワーク: 若干悪化
 - デフォルトの設定だと NAT 処理がはさまるため(?)
- macOS 版や Windows 版は xhyve や Hyper-V のオーバーヘッドのため(?)若干性能が落ちる
 - xhyve: macOS の仮想化ハイパーバイザ
 - Hyper-V: Windows の仮想化ハイパーバイザ

Docker の性能は?

- ちょっと工夫すると
ネイティブ実行と区別つかないくらいになる
 - ファイル I/O:
 - ボリュームを使ってしまえばよい (i.e., `-v` オプションを使う)
→ ネイティブとほぼ同性能が出る
 - ネットワーク I/O:
 - ホスト側のネットワークをそのまま使ってしまえばよい
→ ネイティブとほぼ同性能がでる
 - コンテナ起動時に `--net=host` オプションを指定すると
コンテナがホストのネットワークスタックを直接叩くようになる

Docker の性能は?

- ちょっと特殊なデバイスも使える
 - デバイスファイルを `--device` オプションでコンテナ内にマウントできる
 - NVIDIA:
 - <https://github.com/NVIDIA/nvidia-docker>
 - Infiniband:
 - `/dev/infiniband` 下のデバイスファイルをコンテナ内にマウントすれば OK (らしい)

Docker のセキュリティは？

Docker のセキュリティは？



Docker のセキュリティは?

- 事実上、
「docker コマンドを叩ける」
== 「root 権限を持っている」
- 率直に言えば、現時点では
生の Docker を一般ユーザに
そのまま使わせるのは
管理者の視点からは危険すぎる

Docker のセキュリティ、 ここがやばい (その1)

- ボリューム機能がセキュリティについて何も考えてなさすぎ

```
% docker run -v /:/foo -i -t ubuntu /bin/bash
root@9ab5647d7695:/# cat /foo/etc/shadow
root@9ab5647d7695:/# cp /bin/sh /foo/
root@9ab5647d7695:/# chown root:root /foo/sh
root@9ab5647d7695:/# chmod a+s /foo/sh
```

- 真面目に解決するには
SELinux などの設定が必要

Docker のセキュリティ、 ここがやばい (その2)

- ユーザ間の区別がないに等しい
 - 誰のイメージでもアクセス・実行・削除等が可能
 - 誰のコンテナでもアクセス・実行・削除等が可能

現在よく取られている現実的な解決策

- Docker とは別にユーザ隔離できる仮想環境をユーザごとに用意して
その中で Docker を使わせる
 - 例: Amazon ECS, Google Container Engine, ...

Docker にはまだまだ
いろいろな機能・ツールがいっぱい

- 今日の内容は基礎中の基礎だけ

Docker にはまだまだ いろいろな機能・ツールがいっぱい

- Dockerfile
 - Makefile の Docker 版と考えればよい
 - イメージをビルドする手順を指定する
- docker-compose
 - 複数のコンテナを組み合わせた環境を構築・実行するのに便利
- docker-machine
 - AWS や GCE や SoftLayer 等の上でコンテナを実行させるのに便利
- docker swarm
 - Docker が動作する複数のホストをまとめて管理するのに便利
- docker network
 - 仮想的なネットワークを構築する
 - 物理的に異なる複数ホスト間で仮想的なネットワークを構築することもできる
- ...

